

中小企業景況調査結果
(2024年10月～12月期)

市内の中小企業の景況並びに経済動向等に関する情報の収集及び分析を行い、経営に必要な情報を提供することを目的として実施した。

【調査要領】

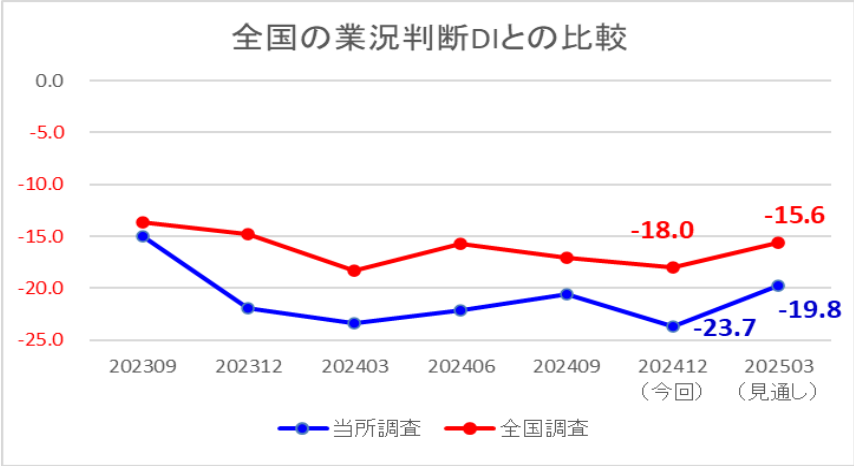
- 調査対象：静岡商工会議所の会員で静岡市内の500事業所
- 調査時期：2024年12月2日 ～ 2024年12月20日
- 調査方法：面談によるヒアリング／郵送またはwebによる調査
- 回答企業：283事業所(回答率56.6%)
- 分析方法：DIによる景況判断(小数点第二位を四捨五入)

【調査結果の概要】

全業種の業況DIは今回調査(2024年10月～12月期)で▲23.7と前期の▲20.8から2.9ポイント「悪化」となった。全国で集計した業況判断DIと比較した場合、当所調査が「悪化」の回答割合が高く、5.7ポイント差となった。先行きはどちらも「好転」の傾向にある。

	202412 (今回)	202503 (見通し)
当所調査	↓	↑
全国調査	↓	↑

↓ : -2.1以下 → : ±2 ↑ : +2.1以上



全国調査＝中小企業基盤整備機構 発 第177回 中小企業景況調査の数値

業種別では卸売業、サービス業が「好転」に対して、製造業、建設業、小売業は「悪化」となった。先行きについては製造業、建設業、卸売業が「好転」、サービス業が「横ばい」に対して、小売業が「悪化」の見通しとなった。

	202412 (今回)	202503 (見通し)
製造	↓	↑
建設	↓	↑
卸売	↑	↑
小売	↓	↓
サービス	↑	→

↓ : -2.1以下 → : ±2 ↑ : +2.1以上

